

丹後地区の年度末総会を開催しました

○ 今年の冬は大変な寒波、大雪で日本列島が震えあがった年で明けましたが、ようやく春の足音が聞こえてきた 3 月中旬ともなると、京都府下でも最も雪の多い丹後地域も野山の雪は消えて、一気に人々の動きも活発になってきました。正に「寒さの果ても彼岸まで」の仏教のことわざ通りのいい春の訪れとなりました。

○ 丹後地区行政相談委員（11 名）は、毎年委員相互の自主研修会の他に年度末の今、丹後地区協議会（中村会長）としての一年間の活動報告、次年度の計画等のほか、委員相互の意見交換の場を設けております。

平成 29 年度末の総会を、去る 3 月 15 日（木）午前 10 時 30 分から京丹後市、峰山地域公民館にて開催しました。

京丹後市副市長梅田様より「行政相談委員として地域住民の意見、要望解決にご尽力頂いている。行政としても改善改革に努力している」旨の歓迎挨拶を頂きました。



中村丹後地区会長



京丹後副市長梅田純市様



京都行政監視行政相談センター菊地康浩所長

又、私共委員活動について常に御指導頂いている総務省京都行政監視行政相談センター菊地康浩所長から「一年間の行政委員活動を通しての地元住民意見や成果、改善等のお話しや、現場の委員意見交換を聞かせてほしい。」との挨拶を頂きました。

○ 議事に入り、一般の共通事業、決算、新年度での事業計画、予算等を経て、委員同士の意見

に於いて、

- ・ 委員活動の中での相談内容に対する助言とか回答での悩み
- ・ 各自治体等行政機関サイドによく似た相談窓口との整合性
- ・ 専門的な相談に対する委員助言の不備や委員研修の必要性
- ・ 相談者の減少や同一相談者への対応
- ・ インターネット社会での端末機の活用は
- ・ 行政機関窓口にある各種パンフレットの多さと活用されているのか
- ・ ネット時代の地相協ホームページ活用や記事の投稿について
- ・ 行政相談活動の中で感じる住民の諸々の意見対応で、関係行政機関、職員等との意見懇談会について

等々、各委員よりざっくばらんな意見が出ました。

その後、各委員は昼食をはさんで談笑、親睦を深めました。



総会の様子

○ 尚、京都行政相談センター所長、課長、係長さん達は総会終了後の午後 1 時 30 分から京丹後市内にある、コミュニティ放送 FM たんご局を表敬訪問されました。



FM たんご局宮川優局長(左)



収録スタジオにて

同放送局は、何年も前から積極的に総務省の「行政相談制度・委員活動」の必要性を認識して頂いており、今日まで何回も京都行政相談センター所長と地元市長さんとの対談放送や、私達委員と相談課長出演による「行政相談」の PR 放送等に大変協力して頂いていることから、今回、丹後地区委員総会の機会を利用して同局を訪問されました。

毎月開設している委員毎の相談日のお知らせや、合同相談所開設に関する PR を放送して頂いている宮川 優さん（局長兼パーソナリティ）達の歓迎を受け、親しく懇談するなかで今日までの協力を感謝すると共に委員制度が一層住民の中に知れ渡っていけるよう、協力方お願いされました。

FM たんご局長宮川さんからは「いつも京都行政相談センターや委員の皆さんからいろんな情報提供の協力を頂いています。共により良い街づくり目指して努力していきましょう」と話して頂きました。 本当に有難うございました。

平成 30 年 3 月 20 日

丹後地区 HP 委員 吉岡 秀巳